

平成20年度(2008年度)  
事業報告書

学校法人 愛知淑徳学園

平成20年度(2008年度)  
事業報告書

目次

学園の概要 1

1. 教育理念	2
2. 沿革	4
3. 設置する学校・学部・学科等	7
4. 学生、生徒数	8
5. 専任教職員数	8
6. 役員数	8

事業の概要 9

1. はじめに	10
2. 大学について	10
3. 中学校・高等学校について	11

財務の概要 12

1. 決算の概要	13
2. 資金収支計算書	14
3. 消費収支計算書	15
4. 貸借対照表	16
5. 財産目録	17
6. 監査報告書	18

# I

## 学園の概要

# 1. 教育理念

## (1) 建学の精神と伝統

愛知淑徳学園は、明治38年(1905年)愛知淑徳女学校として開校されたのが始まりで、愛知淑徳女学校は、翌明治39年(1906年)愛知県下初の私立の高等女学校である愛知淑徳高等女学校として設立認可された。

創設者の小林清作先生は、温良貞淑が女子の美德とされていた時代に、「温良貞淑が女子の唯一の美德と思わぬ。自覚したる女子は一個の人間であらねばならぬ」と主張し、「10年先、20年先に役立つ人材の育成」を教育方針に掲げる一方、生徒には「淑徳魂」を説いた。「淑徳魂」とは、陰徳の精神と、逆境に屈せずに頑張ることである。やがてそれは「謙譲優雅」、「質実剛健」の校訓となり、愛知淑徳学園の伝統精神となって、現在も脈々と流れている。

戦後、日本の学校制度が大きく変わり、高等女学校は新制中学校と高等学校に分離され、愛知淑徳高等女学校も愛知淑徳中学校と愛知淑徳高等学校として再出発し、やがて時代の進展と社会の要請に応えて、愛知淑徳学園は、昭和36年(1961年)に愛知淑徳短期大学を開学し、昭和50年(1975年)に愛知淑徳大学を創立して、中学から大学までの女子教育を担い、その発展に尽くしてきた。

## (2) 大学の理念

愛知淑徳大学は学園の建学の精神と伝統を継承して開学し、愛知淑徳短期大学とともに、女子大学として地域で高い評価を受け、短期大学、大学とも学科を増設して期待に応えてきたが、社会は国際化が進み、情報化の流れが急速になるなかで、生涯学習の時代に入っていった。

この時代の流れと社会の動向の中で、学園の建学の精神である「10年先、20年先に役立つ人材の育成」を達成するために、新たな大学の理念を構築して新しい大学づくりに取り組むこととされ、新しい大学の理念を「違いを共に生きる」と定め、大学が目指し、学生が体得することとして、「地域に根ざし、世界に開く」、「役立つものと変わらないもの」、「たくましさやさしさ」を掲げた。そして、大学が「異なる価値観を交換し合うことによって新しい価値観を生み出す場」として役立つことを期待した。

大学創立20周年の平成7年(1995年)この理念と期待のもと、男女共学がスタートし、現代社会学部を開設して総合大学化へ向かった。平成17年(2005年)学園創立100周年を機に、星が丘及び長久手両キャンパスの教育環境の整備を進め、平成18年(2006年)には、6学部6研究科を擁する総合大学として、教育研究体制の充実を図った。また、地域社会に貢献し連携を図る一環として、同年、愛知淑徳大学クリニックを開設し、本学学生のみならず、地域の方への一般診療も行っている。

愛知淑徳大学は「違いを共に生きる」という理念のもとに、男女の性差だけでなく、国籍の違いを越え、外国人留学生や、年齢や世代の異なる社会人を受け入れているが、今後は健常者と障がい者が共に学ぶこと、自然環境との共生などを視野にいれてこの理念の一層の充実を目指したい。

### (3) 中高完全一貫教育体制における新しい教育方針

愛知淑徳中学・高校は女子のみの学校であり、小学校や大学と異なり、青春期といわれる中学・高校生の時期は異性を日常的に意識しない別学の環境の方が能力の開発にふさわしいとされ、別学のメリットの方が大きいと考えられる。事実、アメリカやヨーロッパでは一部の女子校が高い評価を受け、優れた女性のリーダーを輩出している。

愛知淑徳中学・高校は、平成18年度(2006年度)中学入学生から中高完全一貫教育体制に移行した。12歳から18歳までの6年間をひとつの区切りとしてとらえる中高一貫教育は、

(ア) 高校入試に煩わされることなく、6年間のゆとりのある充実した学校生活を送ることができる

(イ) 学習面で中学と高校の教科内容の不必要な重複をなくし、6年間を見通した体系立った教育ができる

などの長所があり、知徳体のいずれの面からも子供の成長に対応した優れた教育システムと言われている。

愛知淑徳中学・高校は、中高完全一貫教育体制への移行が決定した後、その教育の理念と目標を明確にするため、従来の教育方針を若干修正し、

広く深い視野を持ち、社会のさまざまな分野で活躍する女性  
淑徳魂の「強さ」と「やさしさ」を持つ自立した女性  
豊かな情操と教養を持ち、健康で明るく、主体的に行動できる女性

を本校が目指す人物像とし、その実現のために生徒が身につけるべき「7つの力」を次のように考え、教育の指針としている。

目標や夢に向かって行動できる自己表現力  
国際化に対応する英語力  
自分の考えを自分のことばで表現できる力  
科学的な視野と論理的な思考力  
さまざまな分野で活躍できる自立した判断力  
規律を重んじ、他を大切に作る協調性  
視線は世界へ。それぞれの希望の進路へ

愛知淑徳中学・高校は、中高完全一貫教育体制における新しい教育方針のもと、「すべては、良質な学びのために」をスローガンに、教育内容及び教育環境の充実に不断の努力を重ねていく。

## 2. 沿 革

明治38年度	1905年度	「愛知淑徳女学校」設立（名古屋市中区西新町2丁目15番地） [ 明治38年4月15日認可 ] 開校（修業年限4年、生徒定員400人、第1学年入学78人） 校長に小林清作先生、幹事に吉森梅子先生就任 淑徳会機関誌「淑徳」第1号発行（以後、214号まで37年継続）
明治39年度	1906年度	校舎移転（名古屋市中区東新町9番地） [ 明治39年4月30日認可 ] 「私立愛知淑徳高等女学校」設立 [ 明治39年5月17日認可 ]
明治40年度	1907年度	「教育勅語」謄本下賜される 第1回創立記念式挙行（以後5月17日を創立記念日と定める）
明治41年度	1908年度	卒業お礼参り（修学旅行）に伊勢神宮へ（1泊旅行） 第1回卒業式（卒業生84人）
大正5年度	1915年度	第1回創立記念運動会
大正8年度	1919年度	「愛知淑徳高等女学校」に校名変更
大正9年度	1920年度	夏の制服として洋服を採用 冬の制服として洋服を採用
大正15年度	1925年度	修業年限を5年に変更 [ 大正15年3月6日認可 ]
昭和3年度	1928年度	千種区池下町に校舎移転開校式挙行
昭和5年度	1930年度	講堂落成式挙行 この年、スポーツ淑徳黄金時代に入る
昭和10年度	1935年度	学校長小林清作先生（創立者）逝去
昭和16年度	1941年度	報国団結成式挙行（学徒動員）
昭和19年度	1944年度	「財団法人淑徳女子学園」設立 [ 昭和18年12月11日認可 ]
昭和22年度	1947年度	愛知淑徳中学校開設 理事長に小林慶一郎就任 愛知淑徳高等女学校長・愛知淑徳中学校長に浜島一雄就任
昭和23年度	1948年度	愛知淑徳高等学校開設 校長に浜島一雄就任 愛知淑徳高等女学校最後の卒業式（第41回卒業生156人） 卒業生累計6,373人
昭和26年度	1951年度	「学校法人愛知淑徳学園」に組織変更 理事長に小林慶一郎就任 [ 昭和26年3月8日認可 ]
昭和31年度	1956年度	愛知淑徳中学校長・同高等学校長に小林素三郎就任
昭和34年度	1959年度	千種区田代町瓶杣に校舎移転 伊勢湾台風被害復旧のため10月4日まで休校 理事長に小林素三郎就任
昭和36年度	1961年度	愛知淑徳短期大学開設 学長に小林素三郎就任 愛知淑徳短期大学家政科設置 総定員160人 [ 昭和36年3月10日認可 ]
昭和39年度	1964年度	愛知淑徳短期大学国文科設置 総定員80人 [ 昭和39年1月17日認可 ]
昭和40年度	1965年度	愛知淑徳短期大学英文科設置 総定員80人 [ 昭和40年1月25日認可 ]
昭和50年度	1975年度	愛知淑徳大学開設 学長に小林素三郎就任 愛知淑徳大学文学部設置（国文・英文学科） 総定員各200人 [ 昭和50年1月10日認可 ]
昭和53年度	1978年度	愛知淑徳大学図書館竣工式 愛知淑徳大学第1回卒業式 国文学科132人、英文学科118人卒業

昭和55年度	1980年度	愛知淑徳大学文学部総定員国文・英文両学科、それぞれ400人に変更 [ 昭和55年1月8日認可 ] 愛知淑徳学園創立75周年記念図書「小林清作先生」発刊
昭和60年度	1985年度	愛知淑徳大学文学部図書館情報学科設置 総定員400人 [ 昭和59年12月22日認可 ]
昭和61年度	1986年度	愛知淑徳短期大学コミュニケーション学科設置 総定員400人 [ 昭和60年12月23日認可 ]
昭和63年度	1988年度	飛驒林間学舎（淑友館）竣工披露
平成元年度	1989年度	愛知淑徳大学大学院文学研究科修士課程設置（国文学・英文学・図書館情報学専攻） 総定員30人 [ 平成元年3月17日認可 ] 愛知淑徳大学・短期大学長に小林素文就任
平成2年度	1990年度	愛知淑徳大学大学院文学研究科修士課程第1回修了式 国文学7人、英文学6人、図書館情報学7人修了
平成3年度	1991年度	愛知淑徳大学文学部コミュニケーション学科設置 総定員400人 [ 平成2年12月21日認可 ] 愛知淑徳大学文学部国文・英文・図書館情報・コミュニケーション学科 期間付定員増加 総定員800人増（平成11年度まで）[ 平成2年12月21日認可 ] 愛知淑徳大学大学院文学研究科博士課程設置（国文学・英文学・図書館情報学専攻） 総定員18人 [ 平成3年3月20日承認 ] 理事長に小林素文就任
平成4年度	1992年度	愛知淑徳大学留学生別科設置 総定員30人 [ 平成3年12月18日認可 ]
平成6年度	1994年度	愛知淑徳大学国際交流会館開館
平成7年度	1995年度	愛知淑徳大学男女共学体制への移行 愛知淑徳大学現代社会学部設置（現代社会学科）収容定員1,170人 [ 平成6年12月21日認可 ] 愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科修士課程設置 （人間コミュニケーション・異文化コミュニケーション専攻）収容定員60人 [ 平成7年3月16日認可 ]
平成10年度	1998年度	愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科博士課程設置 （人間コミュニケーション・異文化コミュニケーション専攻）収容定員24人 [ 平成9年12月16日承認 ]
平成11年度	1999年度	愛知淑徳大学大学院現代社会研究科修士課程設置 収容定員60人 [ 平成10年12月22日認可 ]
平成12年度	2000年度	愛知淑徳大学コミュニケーション学部設置 （コミュニケーション心理・ビジネスコミュニケーション・ 言語コミュニケーション学科）収容定員1,680人 文化創造学部設置（文化創造学科）収容定員1,140人 [ 平成11年12月22日認可 ] 愛知淑徳大学文学部コミュニケーション学科、愛知淑徳短期大学 募集停止
平成13年度	2001年度	愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科人間コミュニケーション専攻を 心理学専攻に名称変更

平成14年度	2002年度	愛知淑徳大学大学院現代社会研究科博士課程設置（現代社会専攻） 収容定員15人 [平成13年12月20日承認] 愛知淑徳短期大学 廃止 [平成13年7月30日認可]
平成16年度	2004年度	愛知淑徳大学ビジネス学部設置（ビジネス学科） 収容定員790人 [平成15年6月26日届出受理] 愛知淑徳大学医療福祉学部（福祉貢献学科・医療貢献学科）設置 収容定員800人 [平成15年11月27日認可] 愛知淑徳大学医療福祉学部医療貢献学科言語聴覚学専攻が「言語聴覚士学校」に、 視覚科学専攻が「視能訓練士学校」に指定 [平成15年11月27日認可] 愛知淑徳大学大学院文化創造研究科修士課程設置（創造表現・国際交流専攻） 収容定員50人 [平成15年11月27日認可]
平成17年度	2005年度	愛知淑徳大学大学院ビジネス研究科博士課程設置（ビジネス専攻） 収容定員55人 [平成16年6月25日届出受理] 愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科異文化コミュニケーション専攻を 言語コミュニケーション専攻に名称変更
平成18年度	2006年度	愛知淑徳大学大学院医療福祉研究科修士課程設置 （ソーシャルサービス専攻・コミュニケーション障害学専攻） 収容定員60人 [平成17年12月5日認可] 愛知淑徳大学クリニック設置 [平成17年10月6日診療所開設許可愛知県知事・平成18年5月30日開院]
平成19年度	2007年度	愛知淑徳大学文学部教育学科設置 収容定員400人 [平成18年11月30日認可] 愛知淑徳大学大学院ビジネス研究科専門職学位課程設置（会計専門職専攻） 収容定員60人 [平成18年11月30日認可]
平成20年度	2008年度	愛知淑徳大学大学院文学研究科博士課程設置（文学専攻）収容定員32人 [平成19年4月19日届出受理] 愛知淑徳大学大学院グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科博士課程 設置（グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻）収容定員75人 [平成19年4月19日届出受理] 愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科を心理学研究科に名称変更 愛知淑徳大学大学院医療福祉研究科博士課程設置 （ソーシャルサービス専攻・コミュニケーション障害学専攻） 収容定員15人 [平成19年12月3日認可]



### 3. 設置する学校・学部・学科等

学校・学部・学科等の名称			所在地	
愛知淑徳大学	学部	文学部	国文学科	長久手キャンパス 〒480-1197 愛知郡長久手町 大字長湫字片平9番地
			英文学科	
			図書館情報学科	
			教育学科	
		現代社会学部	現代社会学科	
		コミュニケーション学部	コミュニケーション心理学科	
			ビジネスコミュニケーション学科 <sup>1</sup>	
	言語コミュニケーション学科			
	ビジネス学部	ビジネス学科		
	大学院	文学研究科	博士課程	
国文学専攻 <sup>3</sup>				
英文学専攻 <sup>3</sup>				
図書館情報学専攻 <sup>3</sup>				
現代社会研究科		博士課程	現代社会専攻	
心理学研究科		博士課程	心理学専攻	
コミュニケーション研究科		博士課程	心理学専攻 <sup>3</sup>	
			言語コミュニケーション専攻 <sup>3</sup>	
ビジネス研究科	博士課程	ビジネス専攻		
	専門職学位課程	会計専門職専攻		
学部	文化創造学部	文化創造学科	表現文化専攻	星が丘キャンパス 〒464-8671 名古屋市千種区 桜が丘23番地
			多元文化専攻	
			環境文化専攻 <sup>2</sup>	
	医療福祉学部	福祉貢献学科	言語聴覚学専攻	
			医療貢献学科	
大学院	グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科	博士課程	グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻	
	文化創造研究科	修士課程	創造表現専攻	
			国際交流専攻 <sup>3</sup>	
	医療福祉研究科	博士課程	ソーシャルサービス専攻	
			コミュニケーション障害学専攻	
愛知淑徳高等学校				
愛知淑徳中学校				

1. ビジネスコミュニケーション学科は、平成16年度からビジネス学部へ改組、平成15年度をもって募集停止。

2. 環境文化専攻は、平成16年度から医療福祉学部の設置に伴い、平成15年度をもって募集停止。

3. 文学研究科国文学専攻・英文学専攻・図書館情報学専攻、コミュニケーション研究科心理学専攻・言語コミュニケーション専攻、文化創造研究科国際交流専攻は、グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科の設置、文学研究科国文学専攻の設置、コミュニケーション研究科の心理学研究科への名称変更に伴い、平成19年度をもって募集停止。

## 4. 学生、生徒数

### (1) 大学院生

(平成20年5月1日現在)  
(単位：人)

	修士(含む専門職学位)		博士			計
	1年	2年	1年	2年	3年	
愛知淑徳大学大学院	77	62	11	12	17	179

### (2) 学部学生

	1年	2年	3年	4年	計
愛知淑徳大学	1,893	2,033	1,737	1,972	7,635

### (3) 生徒

	1年	2年	3年	計
愛知淑徳高等学校	353	339	352	1,044
愛知淑徳中学校	282	284	286	852

## 5. 専任教職員数

(平成20年5月1日現在)  
(単位：人)

	教員	職員*	計
愛知淑徳大学	222	118	340
愛知淑徳高等学校	55	9	64
愛知淑徳中学校	39	4	43
計	316	131	447

\*職員数には、愛知淑徳大学クリニックの医師2名を含む。

## 6. 役員数

(平成20年5月1日現在)  
(単位：人)

	定員	現員
理事	8～10	9
監事	2	2
評議員	17～22	21

# Ⅱ

## 事業の概要

## 1. はじめに

2005年に本学園は記念すべき創立100周年の節目のときを迎え、現在は103年目を越え、これまでの歴史と成果を踏まえ、さらに新たな100年に向けての着実な歩みを始めているところである。

この間、学園の発展を見守り、支援していただいた多くの関係者及び地域社会の皆様へ感謝しつつ「伝統はたちどまらない」精神のもと、本学が持続的に発展し続けるために、一日一日を堅実に、そして、誠実に積み重ねながら引き続き教育・研究体制の整備に取り組んでいく。

## 2. 大学について

### (1) 学部の改組再編（資料1）

18歳人口は平成4年の204万人を境に平成20年には124万人と急減したものの今後しばらくは120万人前後で推移すると予測されている。

しかしながら、平成20年度において全国では、入学定員を確保できない大学が全体の半数(47.1%)に迫っている状況である。

このような時代の中にあって本学がさらに持続的に発展を続けていくため平成22年度から、既存学部を改組再編することとして文部科学省にその計画について事前相談を行った。

### (2) 教育学研究科発達教育専攻（修士課程）の設置検討

平成19年度に設置された文学部教育学科は現在学年進行中であり、平成21年度の最高学年はまだ3年次生であるが、教育学関係大学院への社会人の進学意欲や、本学の他学部学生の関心も高いところから、研究科の基礎となる教育学科の完成に先駆けて修士課程を設置するための検討を開始した。

### (3) 大学基準協会による認証評価

本学は平成15年に大学基準協会の相互評価を受け「適合」の判定を受けた。その後、学校教育法の改正により、大学は第三者評価を7年以内の周期で受けることとされたのを受けて平成21年度に認証評価を受けることし、そのための「自己点検・評価報告書」と「専任教員の教育・研究業績」、「大学基礎データ」を大学基準協会に提出した。

### 3. 中学校・高等学校について

学園創立100周年記念事業の一環としての「星が丘キャンパス整備事業 中学・高等学校校舎建設工事」が完了し、新しい時代に対応する教育環境の整備が整った。

「すべては良質な学びのために」をスローガンとして、平成18年度から高等学校の学則定員を100人減員し、中学校の学則定員を100人増員して7クラス280人とし、中高完全一貫教育体制への移行を進めてきた。平成21年4月には、高校1年生が内部進学者のみとなり、順次各学年7クラスの完全一貫教育体制移行へとますます加速する。

完全一貫カリキュラムもさらに練られ本校の独自性と特色を生かした中等教育の充実を図った。教育環境整備も実際に使用するなかで、中学・高校社会科のアーナフロアでの発表授業での使用を主な目的とした展示板の購入等、必要に応じて随時改善しよりよい教育環境作りを進めた。

# Ⅲ

## 財務の概要

## 1. 決算の概要

学校法人は、企業のように営利を目的とはしませんが、その目的とする教育・研究活動を円滑に遂行するため、経営状態や財務状況を正確に把握し健全な経営をしなければなりません。国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、「学校法人会計基準」に従って会計処理を行い、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の各計算書類を作成することが義務づけられています。

平成20年度愛知淑徳学園事業報告および決算については、平成21年5月28日開催の理事会において承認されました。以下に決算の概要について記載します。

### (1) 資金収支計算書

平成20年度は、大学において前年度開設した文学部教育学科の学年進行による入学学生数増加などで在籍学生数が順調に増加し、学園全体での学生生徒等納付金収入が104億4百万円余となったことが大きな要因となり、収入の部合計は265億58百万円余となりました。( 予算比2億84百万円余の増加 )

### (2) 消費収支計算書

平成20年度は、ほぼ資金収支と同じ要因で帰属収入の部合計が124億38百万円余( 予算比1億24百万円余の増加 )、消費収入の部合計83億27百万円余( 予算比3億6百万円余の増加 )となりました。消費支出については、人件費、教育研究経費、管理経費などの効率的な執行に努め、消費支出の部合計は102億48百万円余( 予算比2億14百万円余の減少 )となりましたが、新校舎建設に伴う基本金組入れを行ったため、収支は19億21百万円余の支出超過となりました。

### (3) 貸借対照表

平成20年度の資産の部合計は、575億37百万円余で前年度末比19億62百万円余の増加、負債の部合計は、47億74百万円余で前年度末比2億27百万円余の減少、基本金の部合計は、488億38百万円余で前年度末比41億11百万円余の増加となりました。

また、学園の平成20年度の正味財産( 資産の部合計 - 負債の部合計 )は、527億63百万円余となり、前年度末比21億90百万円余の増加となりました。

## 2. 資金収支計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)  
(単位：千円)

科 目	予算額	決算額
〔収入の部〕		
1. 学生生徒等納付金収入	10,388,335	10,404,403
2. 手数料収入	235,002	275,365
3. 寄付金収入	84,000	88,800
4. 補助金収入	1,133,037	1,145,146
国庫補助金収入	510,000	521,960
地方公共団体補助金(県)収入	613,776	613,999
地方公共団体補助金(市)収入	9,261	9,187
5. 資産運用収入	137,709	160,108
6. 資産売却収入	662,000	664,280
7. 事業収入	60,129	59,347
8. 医療収入	98,000	107,570
9. 雑収入	176,349	194,251
10. 借入金等収入	63,000	58,735
11. 前受金収入	1,462,319	1,586,935
12. その他の収入	609,444	501,231
13. 資金収入調整勘定	2,074,066	1,926,817
14. 前年度繰越支払資金	13,238,656	13,238,656
収入の部合計	26,273,914	26,558,010
〔支出の部〕		
1. 人件費支出	5,185,482	5,121,952
2. 教育研究経費支出	2,749,812	2,680,205
3. 管理経費支出	1,047,177	1,031,370
4. 借入金等利息支出	5,623	5,623
5. 借入金等返済支出	216,249	216,248
6. 施設関係支出	950,771	923,573
7. 設備関係支出	271,982	231,661
8. 資産運用支出	1,666,700	1,666,700
9. その他の支出	237,120	227,598
10. 〔予備費〕	100,000	
11. 資金支出調整勘定	140,000	142,706
12. 次年度繰越支払資金	13,982,998	14,595,786
支出の部合計	26,273,914	26,558,010



## 3. 消費収支計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)  
(単位：千円)

科 目	予算額	決算額
〔消費収入の部〕		
1. 学生生徒等納付金	10,388,335	10,404,403
2. 手数料	235,002	275,365
3. 寄付金	86,000	92,640
4. 補助金	1,133,037	1,145,146
国庫補助金	510,000	521,960
地方公共団体補助金（県）	613,776	613,999
地方公共団体補助金（市）	9,261	9,187
5. 資産運用収入	137,709	160,108
6. 資産売却差額	0	149
7. 事業収入	60,129	59,347
8. 医療収入	98,000	107,570
9. 雑収入	176,349	194,251
帰属収入合計	12,314,561	12,438,979
基本金組入額合計	4,293,231	4,111,076
消費収入の部合計	8,021,330	8,327,903
〔消費支出の部〕		
1. 人件費	5,205,436	5,153,527
2. 教育研究経費	3,895,881	3,835,563
3. 管理経費	1,143,919	1,130,995
4. 借入金等利息	5,623	5,623
5. 資産処分差額	125,381	123,265
6. 〔予備費〕	86,810	
消費支出の部合計	10,463,050	10,248,973
当年度消費支出超過額	2,441,720	1,921,070
前年度繰越消費収入超過額	5,845,188	5,845,187
翌年度繰越消費収入超過額	3,403,468	3,924,117

## 4. 貸借対照表

(平成21年3月31日現在)  
(単位：千円)

《資産の部》		
科	目	平成20年度末
固定資産		42,265,511
有形固定資産		31,430,217
土地		5,804,646
建物		18,781,654
構築物		2,645,590
教育研究用機器備品		1,156,417
その他の機器備品		168,809
図書		2,306,648
車輛		4,346
建設仮勘定		562,107
その他の固定資産		10,835,293
電話加入権		8,569
施設利用権		207
有価証券		5,807,724
長期貸付金		22,452
保証金		146,250
大学等整備拡充資金		3,000,000
新設学科設置引当資金		350,000
退職給与引当資産		699,301
小林素三郎奨学基金		51,000
第3号基本金引当資産		749,790
流動資産		15,272,192
現金預金		14,595,786
未収入金		667,303
棚卸資産		324
仮払金		8,779
資産の部合計		57,537,703

《負債の部》		
科	目	平成20年度末
固定負債		2,762,595
長期借入金		408,766
退職給与引当金		2,353,829
流動負債		2,012,073
短期借入金		188,481
未払金		142,706
前受金		1,586,935
預り金		93,951
負債の部合計		4,774,668
《基本金の部》		
科	目	平成20年度末
第1号基本金		44,367,128
第2号基本金		3,000,000
第3号基本金		749,790
第4号基本金		722,000
基本金の部合計		48,838,918
《消費収支差額の部》		
科	目	平成20年度末
翌年度繰越消費収入超過額		3,924,117
消費収支差額の部合計		3,924,117
科	目	平成20年度末
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計		57,537,703

## 5. 財産目録

(平成21年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	平成20年度末
<b>資産</b>	
1 基本財産	
(1) 土地 270,398.56 平方メートル	5,804,646
(2) 建物 101,755.40 平方メートル	18,781,654
建設仮勘定	562,107
(3) 構築物 1,112 点	2,645,590
(4) 図書 426,281 冊	2,306,648
(5) 教具・校具及び備品 39,115 点	1,325,225
(6) 車輛 10 台	4,346
(7) 電話加入権	8,569
(8) 施設利用権	207
(9) 第2号基本金引当資産	3,000,000
(10) 第3号基本金引当資産	749,790
2 運用財産	
(1) 預金・現金	14,595,786
(2) 未収入金	667,303
(3) 棚卸資産	324
(4) 仮払金	8,779
(5) 保証金	146,250
(6) 長期貸付金	22,452
(7) 長期有価証券	5,807,724
(8) 積立金	1,100,303
<b>資産総額</b>	<b>57,537,703</b>
<b>負債</b>	
1 固定負債	
(1) 長期借入金	408,766
(2) 退職給与引当金	2,353,829
2 流動負債	
(1) 短期借入金	188,481
(2) 未払金	142,706
(3) 前受金	1,586,935
(4) 預り金	93,951
<b>負債総額</b>	<b>4,774,668</b>
<b>正味財産(資産総額 - 負債総額)</b>	<b>52,763,035</b>

(注) 1. 基本財産：学校法人の設置する私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

2. 運用財産：学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

## 6. 監査報告書

### (1) 理事会用

#### 監 査 報 告 書

平成21年5月21日

学校法人愛知淑徳学園  
理事会 御中

学校法人愛知淑徳学園

監事 鈴木 正輝

監事 杉浦 豊彦

学校法人愛知淑徳学園(以下「法人」という。)の監事として、私立学校法第37条第3項に基づき、法人における平成20年度の業務及び財産の状況について監査を行いました。その概要は次のとおりです。

#### 記

##### 1 法人の業務について

平成20年度に開催された理事会には、毎回2人の監事が出席し、業務の決定及び執行の状況を把握するとともに、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施した結果、法人の業務に関する決定及び執行は、適切であることを認めます。

##### 2 法人の財産状況について

財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)は、会計帳簿の記載と合致し、法人の収入及び財産の状況を正しく示しており、法人の業務及び財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

(2) 評議員会用

監 査 報 告 書

平成 2 1 年 5 月 2 1 日

学校法人愛知淑徳学園  
評議員会 御中

学校法人愛知淑徳学園

監事 鈴木 正輝

監事 杉浦 豊彦

学校法人愛知淑徳学園(以下「法人」という。)の監事として、私立学校法第 3 7 条第 3 項に基づき、法人における平成 2 0 年度の業務及び財産の状況について監査を行いました。その概要は次のとおりです。

記

1 法人の業務について

平成 2 0 年度に開催された理事会には、毎回 2 人の監事が出席し、業務の決定及び執行の状況を把握するとともに、重要な決裁書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施した結果、法人の業務に関する決定及び執行は、適切であることを認めます。

2 法人の財産状況について

財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)は、会計帳簿の記載と合致し、法人の収入及び財産の状況を正しく示しており、法人の業務及び財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上